



CHAPTER 6

フォルダ管理関数

この章では、次のフォルダ管理関数に関する情報を示します。

- 「[addPAKsToFolder](#)」 (P.6-1)
- 「[createFolder](#)」 (P.6-2)
- 「[deleteFolder](#)」 (P.6-3)
- 「[listAllFolders](#)」 (P.6-3)
- 「[removePAKsFromFolder](#)」 (P.6-4)
- 「[renameFolder](#)」 (P.6-5)

addPAKsToFolder

構文

```
IDStatus addPAKsToFolder(UserToken token, String[] pak_ids, String folder) throws  
RemoteException;
```

説明

この関数は、指定したフォルダに PAK を追加します。PAK は複数のフォルダに追加できます。PAK を 1 つのフォルダに保持することがクライアント プログラムの要件である場合は、`removePAKsFromFolder()` を呼び出して前のフォルダから PAK を削除します。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが <code>login</code> 関数を呼び出して、バックエンド サーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
pak_ids	String の配 列、必須	—	フォルダに追加する PAK ID の配列。
folder	String、必須	—	フォルダの名前。

戻り値

この関数は `IDStatus` オブジェクトを返します。操作が成功した場合は、エラー番号が `SUCCESS` になります。`IDStatus` には `IDStatusItem` の配列が含まれます。`IDStatusItem` は、PAK ID、エラー番号、およびエラーメッセージで構成されます。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。

システムレベルのエラーが発生して操作が完了できなかったとき、`IDStatus` には操作全体のステータスが含まれます。`IDStatus` のエラー コードは `SUCCESS` 以外になり、エラーの原因がわかっている場合はエラーメッセージが返されます。`IDStatus` には、各 ID に対応する要素を持つ `IDStatusItem` の配列が含まれます。各 `IDStatusItem` には、ID、個々のステータスを示すエラー コード、およびエラーメッセージが含まれます。

createFolder

構文

```
Status createFolder(UserToken token, String folder) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、指定した名前を持つ新しいフォルダを作成します。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが <code>login</code> 関数を呼び出して、バックエンド サーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
folder	String、必須	x21 ~ x7A の範囲の ASCII 文字を含む最大 64 文字の文字列	フォルダの名前。

戻り値

この関数は、`SUCCESS` のエラー コードを含む `Status` オブジェクトを返します。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は、エラー コードを含む `Status` オブジェクトを返します。

deleteFolder

構文

```
Status deleteFolder(UserToken token, String folder) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、システムからフォルダを削除します。このフォルダに含まれる PAK は削除されません。これらの PAK は、別のフォルダに属していない場合、デフォルト フォルダに移動されます。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが login 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
folder	String、必須	—	フォルダの名前。

戻り値

この関数は、SUCCESS のエラー コードを含む Status オブジェクトを返します。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、RemoteException がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は、エラー コードを含む Status オブジェクトを返します。

listAllFolders

構文

```
IDPagingInfo listAllFolders(UserToken token, Pagination pageinfo) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、ステータス、総数、およびフォルダ名の配列を含む IDPagingInfo オブジェクトを返します。

有効なオフセットと最大数を指定してページ分割オプションを設定できます。次の例は、オフセットと最大数を指定してページ分割を設定する方法を示します。

1 ページ目を取得するには、次のようにします。

```
Pagination p = new Pagination(0, 10)
```

5 ページ目を取得するには、次のようにします。

```
Pagination p = new Pagination(50, 10)
```

ページ分割せずにすべてのレコードを取得するには、次のようにします。

```
Pagination p = new Pagination(0, -1)
```

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが <code>login</code> 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
pageinfo			<code>offset</code> と <code>max</code> を含むページ分割オブジェクト。 <code>offset</code> は、この関数によって取得する、最初のレコードセットからの相対的なオフセットを指定します。 <code>max</code> は、取得するレコードの最大数を指定します。 <code>max</code> を <code>-1</code> に設定すると、値が <code>-1</code> であるすべてのレコードが返されます。

戻り値

この関数はフォルダ名の文字列配列を返します。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は `null` を返します。

removePAKsFromFolder

構文

```
IDStatus removePAKsFromFolder(UserToken token, String[] pak_ids, String folder) throws
RemoteException;
```

説明

この関数は、指定したフォルダから PAK を削除します。PAK が 1 つのフォルダだけに属している場合は操作が失敗します。PAK は少なくとも 1 つのフォルダに属している必要があります。インベントリから PAK を削除するには、`deletePAKs()` 関数を使用します。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが <code>login</code> 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
pak_ids	String の配 列、必須	—	フォルダから削除する PAK ID の配列。
folder	String、必須	—	フォルダの名前。

戻り値

この関数は `IDStatus` オブジェクトを返します。操作が成功した場合は、エラー コードが `SUCCESS` になります。`IDStatus` には `IDStatusItem` の配列が含まれます。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。操作が失敗した場合、`IDStatus` エラー コードは `ClmErrors` 以外になります。

renameFolder

構文

```
Status renameFolder(UserToken token, String folder, String new_name) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、特定の PAK フォルダの名前を変更します。フォルダに含まれる PAK は変更されません。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが <code>login</code> 関数を呼び出して、バックエンド サーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
folder	String、必須	—	フォルダの現在の名前。
new_name	String、必須	—	PAK フォルダの新しい名前。

戻り値

この関数は、SUCCESS のエラー コードを含む `Status` オブジェクトを返します。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。エラーが発生した場合、この関数は、エラー コードを含む `Status` オブジェクトを返します。

